

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・世界史研究	学年	第3学年	教科書	『明解世界史図説 エスカリエ 八訂版』(帝国書院) 『詳説 世界史B 改訂版』(山川出版社)
		単位数	2単位	副教材	

学習目標
2年次に履修・修得した世界史Bの通史的学习を前提に、19世紀以降の近現代史の政治・経済的分野を重点的に学習し、現在の国際情勢に通じる近現代の国際関係の流れを、日本の関わり合いに留意しつつ理解していきます。

学習方法
○文字史料や写真、映像等の資料を多用し、歴史的事項の把握とその問題点を考察します。
○国際関係の流れにおける課題を生徒の討議や発表を通して考え、歴史的視点や思考の能力を養います。
○最近の入試問題を利用して問題演習を行い、入試への実戦感覚を磨きます。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨			
	a	関心・意欲・態度	近現代の世界史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、当該の歴史的事項の問題を認識している。			
	b	思考・判断・表現	近現代史の展開から課題を見出し、世界史的立場にたつて多面的・多角的に考察し、現代世界の特質についての認識を深め、現在の国際関係に通じる問題について、国際社会の変化を踏まえた公正な判断をしている。			
	c	資料活用の技能	近現代史の展開に関する諸資料の中から有用な情報を選択して活用することを通して歴史事象を追究する方法を身につけている。			
	d	知識・理解	近現代史の基本的な事柄を、国際関係や日本との関わり合いなどの視点に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。			

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	帝国主義世界の成立から2度の世界大戦へ	11	帝国主義の成立から第1次世界大戦	・帝国主義による世界分割の様相 ・アジアの民族運動の展開と第1次世界大戦 ・ロシア革命と大戦終結からベルサイユ体制の成立	○	○	○	○	a 帝国主義列強によるアジア・アフリカの植民地競争による世界の支配の進展とその結果として起った第1次大戦への関心と問題の所在について意欲的な考察を深めている。 b アジアの民族自決が戦後のベルサイユ体制の中でどのように変容し、かつその体制の中心である国際連盟の役割等の問題を考察し、その背景を判断している。 c 世界大戦の実相やロシア革命の展開に関する諸資料を活用してその実態を把握している。 d 第1次世界大戦とその前後の国際関係を歴史的視点から理解している。	・プリント演習 ・ノートの確認 ・確認テスト
			世界恐慌とファシズムの台頭	・世界経済恐慌と各国の対策 ・ファシズムによるドイツ、イタリアの台頭 ・日本の大陸進出と中国・ソ連の動向	○	○	○	○	a 世界経済恐慌の実態と各国の対策について関心を持ち、その背景に関する問題を意欲的に追究している。 b ファシズムがイタリアやドイツで如何に台頭してきたかを考察している。 c 世界恐慌の様相やドイツの再軍備の史料を読み取れている。 d 世界経済恐慌とその影響、ファシズム・全体主義や資本主義の変容、列強の植民地支配の転換等について基本的知識を身につけている。	・プリント演習 ・課題発表 ・確認テスト
			第2次大戦と戦後秩序の構築	・第2次世界大戦の実相とアジアの情勢 ・戦後世界秩序の構築と米ソ冷戦の発生 ・冷戦の推移と中華人民共和国の成立、朝鮮戦争の勃発	○	○	○	○	a 第2次世界大戦の内容について関心を持ち、その背景と戦後の在り方に関する問題を意欲的に追究している。 b 日本を中心とするアジアでの大戦の展開についてを考察している。 c 世界大戦や米ソ冷戦の史料や映像からその実情を読み取っている。 d 世界大戦後半期から戦後の国際秩序の形成、冷戦に至る過程、及び中華人民共和国の成立について基本的知識を身につけている。	・プリント演習 ・ノートの確認 ・確認テスト
後期	戦後 冷戦の終結とグローバリゼーションの進展、地域紛争の拡大	11	アジア・アフリカ地域の台頭と米ソ冷戦の終結	・アジア・アフリカ諸地域の独立と第三世界の台頭 ・冷戦の終結から東欧の民主化・ソ連の解体 ・社会主義国の変容	○	○	○	○	a アジア・アフリカ諸地域の独立・第三世界の動きと冷戦の変化による国際政治の多極化について意欲的に問題点や課題を追究している。 b 冷戦終結の背景やソ連を中心とする東欧社会の変動を認識し、国際政治の視点から出来事を判断している。 c 映像や米ソ等の首脳発言等を有効に活用し、理解の材料にしている。 d 冷戦後期の情勢について第三世界や東欧の動向と関連して理解している。	・プリント演習 ・課題発表 ・確認テスト
			世界経済の再編と社会主義世界の変容	・石油危機と世界経済の再編、地域統合の進展 ・貿易・金融・情報の自由化 グローバリゼーションの進展	○	○	○	○	a 石油危機の背景や世界経済の変容・再編について関心を深め、意欲的に考察をしている。 b 貿易・金融等の自由化の流れの中で諸地域の地域統合が進展している背景やグローバリゼーションとの関連を適切に判断し考察している。 c 世界経済関係の統計資料を駆使してグローバリゼーションの内容を理解している。 d 現在日本が直面している様々な経済・金融関係の問題とグローバリゼーションとの関係を理解している。	・プリント演習 ・課題発表 ・確認テスト
			途上国の民主化、地域紛争の激化と格差問題	・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困、テロの多発	○	○	○	○	a 発展途上国の民主化の流れと既存の独裁政権との関係に関心を持ち、国際関係に影響していることを考察している。 b 地域紛争の激化の背景と地域の貧困化の関連を適切に判断し、認識を深めている。 c 映像やジャーナリストの報告により個々のテロや紛争の実態、貧困の様相を的確に把握している。 d 今日の世界情勢についてテロ活動や地域紛争の実情や背景を適切に理解している。	・プリント演習 ・課題発表 ・確認テスト
合計時数(55分授業)		64								